

# 南信州広域連合第7回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年10月22日(金) 14:20～15:10

場所：阿南町民会館 大ホール

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

## 1 開会…14:20

## 2 広域連合長あいさつ

本日の協議・報告事項の内容ではないが、10月4日の定例記者会見で信州大学の新学部誘致を表明させていただいた件については非常に反響が大きくなっている。住民の皆様とお話をさせていただいても、新学部誘致に向けた地元の盛り上がりを感じており、これだけ歓迎しようとしている熱を信州大学にも伝えていかなければならないと思っている。慎重に進めていくべき事項も多いが、情報共有を密に対応していきたい。

## 3 協議・報告事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

\*飯田保健福祉事務所長から（飯田保健所作成資料を基に説明）

- ・長野県内の10月18日現在の陽性者数については、8,833人。陽性者の推移（日別）をグラフで示してみると、第3波以降、第4波、第5波と大きな波が続いた。
- ・一方、飯田圏域の10月19日現在の陽性者数については、334例。陽性者の推移（日別）をグラフで示してみると、第3波と第5波の波が大きかったことが分かる。これは年末年始時期（第3波）及びお盆時期（第5波）の人の行き来が多かったことが起因すると思われる。GW時期（第4波）は当地域においては人の行き来が比較的少なかったため、感染者数も少なかった。
- ・人口1,000人あたりの感染者数は、飯田保健所管内は2.1/千人だった。県内全体が4.3/千人なので約半数である。（全国は13.7/千人、東京は27.0/千人）
- ・飯田保健所管内において、第5波で感染した者のうち、ワクチン接種が2回済んでいない者は137人。ワクチン2回接種後2週間以上経過していたが感染した者は5人。飯田下伊那の総人口やワクチン接種率等から考えても、ワクチン接種が2回済んだ者は非常に感染しにくいことが分かった。

### (主な意見等)

高森町：第5波において、ワクチン2回接種後2週間以上経過していたが感染した者は5人との説明があったが、その者たちはどのような経緯で感染者として拾われたのか（発熱があったため、自身で検査を受けたのか）。また、症状自体は接種後のため軽かったのか。

飯田保健事務所長：感染が発覚した経緯は、家族が感染したため、濃厚接触者として検査したところ感染が発覚。症状については、発熱や風邪のような症状はほとんどなく、無症状に近かった。

しかしながら、ウイルスの保有量は多く、他人に感染させるおそれは十分にあった。

売木村：感染者数が落ち着いたことから、今後は経済活動が活発になり、人の行き来も増えていくと思うが、第6波の到来という可能性はあるのか。

保健福祉事務所長：ワクチン接種がまだ済んでいない者もいるし、子ども中心に増える可能性はある。引き続き感染予防対策や早期の発見により感染拡大を防ぐことが大切。

天龍村：今年のインフルエンザの状況はどんな状況になりそうか。インフルエンザのワクチン接種に悩む村民の方々も多い。

保健福祉事務所長：非常に難しい。ただ、私個人として意見を述べるならば、今年も昨年同様流行らないと思う。インフルエンザは寒い時期である冬に流行り、春になると南半球に移動するが、今年も南半球の方では感染者が少ないため、あまり流行らないと思っている。

様々な見解もあると思うので、感染予防対策として個人でご判断いただければと思う。

## (2) 稲葉クリーンセンター上半期運営状況について 【飯田環境センター事務所長】 ～資料No. 1～

### ア ごみ搬入量の推移について

- ・令和元年度のごみ搬出量は、28,812.15t。令和2年度は、29,286.71tで、前年度比101.65%
- ・令和3年度上半期のごみ搬出量は、14,977.39tで、前年比99.52%と若干の減少傾向

### イ 施設の運転に係る数値の比較（効率的な数値は、搬入されたごみを効率的に処理する理想的な数値）

#### ・1日当たりの焼却量

効率的な数値：90 t/日      現在の数値：92.5 t/日（平均値）      数値の差：2.5 t/日（102.8%）

#### ・運転日数

効率的な数値：280 日/年      現在の数値：340 日/年（R2年度）      数値の差：60 日/年（121.4%）

#### ・年間搬出量

効率的な数値：25,200 t/年      現在の数値：29,286 t/年（R2年度）      数値の差：4,086 t/年（116.2%）

### ウ ごみの組成分析

- ・令和2年度においては、燃やすごみが委託収集されたごみ全体の約9割。紙資源・プラ資源が約1割、その他、埋立ごみ、金属、不燃ごみが混入。
- ・年間の紙資源・プラ資源となるごみの混入量を試算すると約2,000t余の資源ごみが焼却されていることとなる。これらの資源ごみが正しく排出されることで、年間のごみ搬入量の削減に繋がる。

### エ 令和2年度～令和3年度の取組状況

#### 【啓発活動】

- ・直接搬入車両への分別指導及び月4回の展開検査の実施
- ・チラシ、ホームページ、広報誌等による分別の啓発・事業者向けごみ分別ガイドブックの作成配布
- ・小学生向け環境学習講座の開催（カードゲームを通じて、ごみの分別・削減の大切さを学ぶ）
- ・リサイクルセンターにおける環境学習講座（親子・一般）の開催

#### 【市町村との連携】

- ・市町村担当者立会のもと、委託収集ごみの搬入ごみチェック及び結果を踏まえたごみの分別の推進
- ・ごみ処理担当者会議における現状把握と啓発方法等の協議
- ・各市町村の広報誌、音声告知等による啓発

### (主な意見等)

大鹿村：稲葉クリーンセンターに移る前の旧桐林ごみ処理施設の時に、生ごみが多く、焼却炉内の温度が下がるため石油を足して焼却していたということがあったが、現在の焼却の方式もそのようなことはあるか。

環境センター事務所長：やはり焼却するに当たって、生ごみ等の水分により焼却炉内の温度が下がることがある。そのため、薬品等を使用することも多い。

大鹿村：飯田市と町村を比較すると、ごみ分別等に対する意識に差があると感じる。今後はそ

ういったところの検証をするのもごみ搬入量の削減に繋がると思う。

- (3) 第29回三遠南信サミット2021 in 東三河について 【事務局長】 ～資料No.2～
- ・各市町村に既に通知済
  - ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者数を制限してのオンライン併用型
  - ・全大会及び分科会の配信については、だれでも視聴可能なため、住民の方々へも周知願いたい

【全体会】 11月4日(木) 14:00～16:30  
【技分科会】 10月21日(木) 14:00～15:30  
【風土分科会】 10月25日(月) 10:00～12:00  
【住分科会】 10月27日(水) 14:00～15:30

(主な意見等)

大鹿村：既に実施された10月21日の分科会において、新型コロナウイルスの影響もあったが、南信州からの出席者が非常に少なかった。来年度は南信州での開催となるので、是非、会場へ足を運び盛り上げることができると良い。

- (4) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼警防課長】 ～資料No.3～

- ・火災発生件数について(10月17日現在)  
→ 62件(前年同日比 +2件)
- ・たき火火災発生件数  
→ 23件(前年同日比 △6件)  
10月に入り火災が5件発生。内訳は、建物火災2件、車両火災2件、その他火災1件。内、10月8日に飯田市上郷で発生した建物火災において、近所の住民3名が火災を発見し、初期消火後に建物内に取り残された高齢の女性を協力し迅速に救助した事案があった。この3名の方の功績に対し、10月26日(火)に消防本部にて消防長表彰を行う予定。
- ・熱中症疑いによる救急搬送の状況(4月26日～10月3日)  
→ 搬送人員67人(前年同日比 △24人)  
7月～8月上旬までは猛暑が続き前年を上回るペースで搬送者数が増加したが、お盆頃から雨天の日が続き極端に暑い日が続かなかったことや、熱中症予防の広報の効果から減少に転じたと考察される。
- ・阿南消防署の高規格救急車の更新事業について、本日交付式を実施。正式運用は11月1日を予定。  
→ 質疑等なし

- (5) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.4～

\*EMCシンポジウム I I D A 2 0 2 1

期 日：令和3年12月7日(火) 13:30～17:00

主 催：公益財団法人 南信州・飯田産業センター

趣 旨：昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり2年ぶりの開催。各通信ネットワークにおけるノイズ抑制技術とドローンEMC、5Gや6Gについて業界等で活躍されている方々がオンラインで講演するもの。

→ 質疑等なし

- (6) その他 【事務局次長】

\*南信州環境メッセ2021について

具体的な日程等が決定。期日は、12月4日(土)、5日(日)の2日間。場所はエス・バード。メッセへの出展募集を行ったところ、48社の応募を頂いた。現在告知チラシを作成中。11月に配布する予定なので、各関係機関等に周知いただくようご配慮願いたい。

→ 質疑等なし

#### 4 長野県から

##### \*南信州地域振興局

第49回衆議院議員総選挙及び第25回最高裁判所裁判官国民審査について、10月19日に公示、31日に投票となる。選挙事務担当の方々には、選挙啓発や期日前投票、投開票における準備を進めていただいている。引続き投票率向上のため、普及啓発活動にご尽力いただきたい。また、今回の衆議院議員総選挙は、公示から投票までの期間が戦後最短となっており、選挙事務を担当されるの方々には非常に負担が掛かっていると思うが、不明な点があれば、南信州地域振興局まで早めにご相談いただき、適切、円滑な選挙事務の執行をお願いしたい。

#### 5 当面の日程について

令和3年11月5日(金) 南信州広域連合議会第2回定例会告示  
令和3年11月15日(月) 南信州広域連合会議(消費生活センター)

#### 6 その他

##### \*事務局から

10月13日に三峰川総合開発事業促進期成同盟会の総会が開催された。今まで監事が空席であったが上伊那広域から1名、南信州広域から1名選出することとなり、南信州広域からは豊丘村長が選出された。

#### 7 閉会…15:10